

内容（講義と演習）

1. データ入力(1)
2. WINE 管理用表のデータ入力 (30 点)

## 1. データの入力

### ➤ 原始データ

wineDB データ一覧(入力用)

wineID	name	localID	kind	color	type	vintage	price
1	シャブリ	4	シャルドネ	白	スティール	2001	2400
2	ジュヴレシャンベルタン	4	ピノノワール	赤	スティール	1998	3000
3	サンテミリオン	5	メルロー	赤	スティール	1997	5800
4	オーメドック	5	カルベネソー	赤	スティール	1997	2200
5	サンセール	7	ソーヴィニヨンブラン	白	スティール	2001	2800
6	シャンパン	1	シャルドネ	白	スパークリング	1999	4000
7							
8							
9							
10							
11							

  

localID	locality	country
1	シャンパーニュ	フランス
2	ソテルヌ	フランス
3	トカイ	ハンガリ
4	ブルゴーニュ	フランス
5	ボルドー	フランス
6	ラインガウ	フランス
7	ロワール	ドイツ
8		
9		

  

setID	wineID	numer
s-1	1	1
	2	1
s-2	3	1
	4	2
s-3	1	3
	5	2
s-4	2	1
	3	1
	4	1

  

setID	name
s-1	ブルゴーニュセット
s-2	ボルドーセット
s-3	白ワインセット
s-4	赤ワインセット

図1 wineShop の wineData

<http://apricot.hi.kumamoto-nct.ac.jp:8099/~sningping/DB/wineData.pdf>



➤ MySQL データ挿入命令

```
insert into テーブル名(属性名 1, 属性名 2, ...) values(値 1, 値 2, ...);
```

4つのワインデータを入力用 sql ファイル :

<http://apricot.hi.kumamoto-nct.ac.jp:8099/~sningping/DB/wineData.sql>

コード :

```
insert into locality(locality, country) values('シャンパーニュ','フランス');
```

```
insert into locality(locality, country) values('ソーテルヌ','フランス');
```

```
insert into locality(locality, country) values('トカイ','ハンガリ');
```

```
insert into locality(locality, country) values('ブルゴーニュ','フランス');
```

```
insert into locality(locality, country) values('ボルドー','フランス');
```

```
insert into locality(locality, country) values('ラインガウ','フランス');
```

```
insert into locality(locality, country) values('ロワール','ドイツ');
```

```
insert into wine(name, locaID, kind, color, vintage, price) values ('シャブリ  
'4,'シャルドネ','白',2001,2400);
```

```
insert into wine(name,locaID, kind, color, vintage,price) values ('ジュヴレシ  
ャンベルタン',4,'ピノノワール','赤',1998,3000);
```

```
insert into wine(name, locaID, kind, color, vintage, price) values ('サンテミ  
リオン',5,'メルロー','赤',1997,5800);
```

```
insert into wine(name,locaID,kind,color,vintage,price) values ('オーメドック  
'5,'カルベネソー','赤',1997,2200);
```

```
insert into wine(name,locaID,kind, color, vintage,price) values ('サンセール  
'7,'ソーヴィニヨンブラン','白',2001,2800);
```

```
insert into wine(name, locaID,kind, color, vintage, price) values ('シャンパン  
'1,'シャルドネ','白',1999,4000);
```

```
insert into wineSet(setID, name) values('s-1', 'ブルゴーニュセット');
```

```
insert into wineSet(setID, name) values('s-2', 'ボルドーセット');
```

```
insert into wineSet(setID, name) values('s-3', '白ワインセット');
```

```
insert into wineSet(setID, name) values('s-4', '赤ワインセット');
```

```
insert into setDetail values('s-1',1,1);
```

```
insert into setDetail values('s-1',2,1);
```

```
insert into setDetail values('s-2',3,1);
```

```
insert into setDetail values('s-2',4,2);
```

```
insert into setDetail values('s-3',1,1);
```

```
insert into setDetail values('s-3',5,1);
```

```
insert into setDetail values('s-4',2,1);
```

```
insert into setDetail values('s-4',3,2);
```

```
insert into setDetail values('s-4',4,1);
```

**注意事項：**

✧ **auto-increment** に指定された **primary key** は値を代入できない。

✧ 全ての属性名に値を代入する場合は、属性名を羅列しなくてもよいが、

値一覧の順序はスキーマの定義に一致しなければなりません。

```
insert into テーブル values(値 1, 値 2, …);
```

✧ **属性の型と値の型は絶対一致すること。**

**演習課題 0506(30 点)**

① 図 1 にあるワインの写真をダウンロードしたあと、`…/public_html/DB/images` にアップロードしてください。その後、

<http://apricot.hi.kumamoto-nct.ac.jp:8099/~sningping/DB/wineData.sql>

の中で、テーブル wine だけ MySQL のデータ入力命令に画像ファイル名を書き込むよう

に修正する。

```
insert into wine(name, localID, kind, color, vintage, price, picture) values ('シャブリ',4,'シャルドネ','白',2001,2400,'../images/画像ファイル名');
```

画像ファイル名に拡張子は含まれることを注意してください。修正した sql ファイルを …/public\_html/DB/ERD に置き、Mysql で wineData.sql を実行し、ワイン関連する 4 つのテーブルのデータ入力を行って下さい。

- ② 日本産のワインを調べて、wineShopDB に追加して下さい。最初には、テーブル locality に新しい産地名・国名を追加してください。次に、6種類ほどのワインをテーブル wine に追加してください。その後、ワインセットとセット詳細にも3種類ほどのワインセット追加してください。手順は①と同様。

## 付録 MySQL のソースからの実行方法

ステップ1. linux サーバー上のある場所 (public\_html/DB/ERD) で sql ソースを作成する。

ステップ2. ステップ1と同じ場所(public\_html/DB/ERD)で MySQL にログインする。

```
mysql -u db○○ -p
```

-> password:

ログインができれば、データベースに接続する。

```
use db○○
```

ステップ3. sql ソースを一回のみ実行する。

```
source wineData.sql
```

「OK」というレスポンスが出れば、実行ができました。Error メッセージが出れば、ソースにミスあるので、やり直しなければなりません。

但し、成功した部分は重複して再度実行しないこと。間違った部分だけやり直せば結構です。

ステップ4. 入力を確認する。

- ① `select * from locality;`
- ② `select * from wine;`
- ③ `select * from wineSet;`
- ④ `select * from setDetail;`